

## 第58回定時総会 議案書

### 総会 日程

日時：令和5年6月23日（金曜日） 午後1時～3時

場所：日本教育会館 703会議室

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 03-3230-2831

### 第58回定時総会次第

#### 次第

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 審議
  - 第1号議案 令和4年度 事業報告
  - 第2号議案 令和4年度 会計報告
4. 報告
  - 報告事項1 令和5年度 事業計画
  - 報告事項2 令和5年度 会計計画
5. 討論
6. 閉会宣言

#### (資料)

資料1	令和4年度 事業報告 (案)	2～3
資料2	令和4年度 会計報告 (案)	4～9
資料3	令和5年度 事業計画	10
資料4	令和5年度 会計計画	11～12

(資料1)

## 第1号議案 令和4年度事業報告(案)

### 1. 総括

一般社団法人地下水技術協会(以下、当協会という)の事業活動の目的は、地下水に関する調査、研究並びに利用技術の向上と地下水に関する知識の普及をはかることにある。

平成4年度もコロナウイルスに振り回された1年でした。それにもかかわらず、機関誌の発行は2号行うことができました(64-1は発行済み、64-2は印刷中)。予定していた春の講習会ならびに秋の講演会はリモート開催となりました。しかしながら、東京から遠距離の会員様にも参加いただけたことは、新たな発見でありました。今後は、機関誌の安定的な発行と、タイムリーな「ニュースレター」の発行、ならびに充実した講習会や講演会の定期的な開催により、会員サービスの向上を目指し、会員及び準会員の拡大につなげたいと考えております。

### 2. 事業報告

(1) 編集委員会：機関誌「地下水技術」と「ニュースレター」を発行した。また、次期に向けて、協会ホームページの充実を計画した。新規HPに向けてデータベースを拡充した。

第1回編集委員会 2022年07月15日 年度計画打ち合わせ

第2回編集委員会 2022年12月15日 64巻1号発行打ち合わせ

第3回編集委員会 2023年03月03日 64巻2号発行打ち合わせ

(2) 企画委員会：春季講習会として、「初級技術者のための地下水講座(6月28日)」を、リモートで、秋季講演会「地下水の利用-さまざまな場面で活用される地下水-(11月28日)」もリモートで開催した。

第1回企画委員会 2022年04月15日 企画年度計画打ち合わせ

第2回企画委員会 2022年05月25日 地下水講座打ち合わせ

第3回企画委員会 2022年08月17日 秋季講演会打ち合わせ

(3) 総務委員会：協会の円滑な運営にむけ、事務局の活動を管理・監督した。活動は主としてメール会議で行った。対面での会議は3月16日に、企画委員長とともに実施した。

・第1回総務委員会 2023年03月16日 次年度事業計画案と予算案の策定。

事業として春季講習会・秋季講演会に加え、ほか講習会他1件を予定することとした。

(4) 協会の事業を通じ、協会の認知を広めるとともに、会員サービスの向上と新規会員の獲得を目指すとともに、準会員制度の広報を行い、準会員の獲得により協会活動の活性化を図った。

(資料 2 令和 4 年度会計報告 (案))

(I 貸借対照表)

(II 正味財産増減表)

(III 収支計算書)

(IV 監査報告書)

(資料2-1)

第2号議案 令和4年度会計報告

貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

(資産の部)

科 目		金 額 (円)	
大 科 目	中 科 目		
流動資産		1,843,863	
	預金現金	1,843,863	
	未収会費	0	
	未収金	0	
	前払い金	0	
	貯蔵品	0	
固定資産		207,000	
基本財産		土地・投資有価証券等	0
特定資産		退職給付引当資産、減価償却引当資産、積立資産等	0
その他固定資産			207,000
	什器備品		0
	電話加入権		0
	保証金		207,000
	その他	建物、構築物、車両運搬具、土地、建設仮勘定、借地権	0
資産合計			2,050,863

(負債の部)

科 目		金 額 (円)	
大 科 目	中 科 目		
流動負債		0	
	未払金	0	
	前受金	0	
	預り金	0	
	短期借入金	15,189	
固定負債		0	
	長期借入金	0	
		退職給付引当金, 受入保証金	0
負債合計			15,189

(正味財産の部)

科 目		金 額 (円)	
大 科 目	中 科 目		
指定正味財産		国庫補助金、地方港教団体補助金、民間補助金、寄付金等	0
一般正味財産		正味財産から指定正味財産を控除した額	2,035,674

(資料2-Ⅱ)

令和4年度正味財産増減表

令和4年4月1日より

令和5年3月31日まで 単位:円

科 目	金 額		
	令和3年度	令和4年度	増減
	R3/3/31 現在	R5/3/31	
1. 資産の部			
(1) 流動資産			
預金現金	1,628,136	1,843,863	215,727
現金 現金手許保有高	0	48,867	48,867
普通預金 三菱東京UFJ銀行 神保町支店	923,668	940,528	16,860
郵便振替 ゆうちょ銀行 西神田郵便局	704,468	854,468	150,000
未収金	0	0	0
流動資産合計	1,628,136	1,843,863	215,727
(2) 固定資産			
什器備品	0	0	0
保証金	207,000	207,000	0
固定資産合計	207,000	207,000	0
資産合計	1,835,136	2,050,863	215,727
2. 負債の部			
(1) 流動負債	16,397	15,189	▲ 1,208
未払金	0	0	0
短期借入金	16,397	15,189	▲ 1,208
(2) 固定負債	0	0	0
負債合計	16,397	15,189	▲ 1,208
正味財産	1,818,739	2,035,674	216,935

▲:前年度より減を示す。

(資料2-Ⅲ)

## 令和4年度収支計算書 1/2

科目	R4年度予算	R4年度決算	予算増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	0	0	0	
基本財産運用益等	0	0	0	
② 特定財産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息・配当金	0	0	0	
③ 受取入会金	0	0	0	
④ 受取会費	3,820,000	3,760,000	▲ 60,000	
正会員	2,700,000	2,650,000	▲ 50,000	会員数変更なし
特別会員	1,100,000	1,100,000	0	
準会員	20,000	10,000	▲ 10,000	1名退会
⑤ 事業収益	675,000	664,793	▲ 10,207	
受取参加費	600,000	649,793	49,793	
機関紙頒布収益	20,000	15,000	▲ 5,000	
広告収入	55,000	0	▲ 55,000	発行遅れ未請求
⑥ 受託収入	0	0	0	
⑦ 受取補助金	0	0	0	
⑧ 受取助成金	0	0	0	
⑨ 受取寄付金	0	0	0	
⑩ 雑収益	0	22	22	
受取利息	0	22	22	
有価証券運用益	0	0	0	
経常収益計	4,495,000	4,424,815	▲ 70,185	
(2) 経常費用			0	
① 事業費			0	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
臨時雇賃金	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
会議費	50,000	30,000	▲ 20,000	
旅費交通費	25,880	79,100	53,220	講師旅費など
通信運搬費	90,000	16,505	▲ 73,495	
電話料金	0	0	0	
運搬費	90,000	16,505	▲ 73,495	
郵送料	0	0	0	
運送料	90,000	16,505	▲ 73,495	会誌発送1件
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	800,000	123,750	▲ 676,250	会誌1号のみ
燃料費	0	0	0	
光熱水料費（電気料金）	0	0	0	
賃借料	50,000	22,110	▲ 27,890	
会場借料（備品使用料含）	0	0	0	
ZOOM契約料	50,000	22,110	▲ 27,890	
保険料（火災保険料）	0	0	0	
緒謝金	150,000	198,000	48,000	講師謝金
租税公課	0	0	0	
支払い負担金	100,000	0	▲ 100,000	
支払助成金	0	0	0	
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
委託費	0	0	0	
雑費	31,000	25,249	▲ 5,751	
印紙・証紙等	0	0	0	
振込手数料	10,000	4,249	▲ 5,751	
その他雑費（CPD含む）	21,000	21,000	0	
事業費計	1,296,880	494,714	▲ 802,166	

令和4年度収支計算書 2/2

科目	R4年度予算	R4年度決算	予算増減	備考
②管理費				
役員報酬	0	0	0	
給料手当	800,000	905,000	105,000	事務局員交代
臨時雇賃金	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
会議費	10,000	6,300	▲ 3,700	
旅費交通費	300,000	540,808	240,808	事務局員交通費
通信運搬費	100,000	84,610	▲ 15,390	
電話料金	70,000	70,674	674	
郵送料	30,000	13,936	▲ 16,064	利用回数減少
運送料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	50,000	158,535	108,535	HDDなど
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費（電気料金）	60,000	49,712	▲ 10,288	
賃借料	1,704,000	1,776,121	72,121	
事務室賃借料	964,000	963,600	▲ 400	
契約更新料	0	94,440	94,440	5月に更新
事務機リース料	600,000	580,404	▲ 19,596	リース2件終了
事務機保守点検費	120,000	105,997	▲ 14,003	
会場借料(備品使用料含)	20,000	31,680	11,680	
保険料(火災保険料)	30,330	30,330	0	
緒謝金	0	0	0	
租税公課	70,000	70,000	0	
支払い負担金	0	0	0	
支払助成金	0	0	0	
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
委託費	0	0	0	
雑費	73,790	91,750	17,960	
地下水学会会費	20,000	40,000	20,000	大幅値上げ
東京商工会議所会費	15,000	15,000	0	
印紙・証紙等	10,000	12,400	2,400	
振込手数料	10,000	4,840	▲ 5,160	
その他雑費	18,790	19,510	720	
管理費計	3,198,120	3,713,166	515,046	
経常費用計	4,495,000	4,207,880	▲ 287,120	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	216,935	216,935	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
固定資産売却損	0	0	0	
災害損失	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	1,369,785	1,818,739	448,954	
一般正味財産期末残高	1,818,739	2,035,674	216,935	

## 監 査 報 告

一般社団 地下水技術協会

会長 殿

令和 5 年 6 月 8 日

一般社団 地下水技術協会 監事

ひら 藤 重 和 

一般社団法人地下水技術協会定款第44条による監査を実施したので、下記に報告する。

### 記

1. 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した結果、定款第44条に規定する貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算表）及びこれらの付属明細書並びに財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認める。
2. 業務監査について、関係書類の閲覧などにより業務の執行についてその妥当性を検討したところ、定款第44条に規定する事業報告の内容は正しいものと認める。

以上



## 監 査 報 告

一般社団 地下水技術協会

会長 殿

令和 5 年 6 月 8 日

一般社団 地下水技術協会 監事

堀田文雄



一般社団法人地下水技術協会定款第44条による監査を実施したので、下記に報告する。

### 記

1. 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した結果、定款第44条に規定する貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算表）及びこれらの付属明細書並びに財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認める。
2. 業務監査について、関係書類の閲覧などにより業務の執行についてその妥当性を検討したところ、定款第44条に規定する事業報告の内容は正しいものと認める。

以上

(資料 3)

## 報告事項 1 令和 5 年度事業計画

### 1. 方針

一般社団法人地下水技術協会における事業活動の目的は「地下水に関する調査、研究並びに利用技術の向上と地下水に関する正しい知識の普及をはかる」ことにあります。地下水を適正かつ継続的に利活用するためには、地球環境や人口動態の変化に留意しつつ、新しい地下水探査技術の活用に加え、さく井技術やポンプ揚水技術を整備し、さらに総合化した地下水管理技術体系を確立して地下水の動態を探り、社会の発展と公共の福祉に資さなければなりません。

近年はコロナ禍にあり、協会活動が停滞しがちでした。昨年度の総会において、会長が交代し、新体制を築くことができました。講演会や講習会は予定通り実施できましたが、機関誌の発行は2回となり、会員各位にはお詫び申し上げる次第です。会員相互のコミュニケーションの充実を図るため、今年度はさらに全国的な会員サービスを見据えて、DX 計画を取り入れるなど、新しい発想で協会活動を充実させようと考えます。

令和 5 年度は、昨年に引き続き春の講習会、秋の講演会についてはその形態も考慮しながら開催していく所存です。また機関誌の安定的な発行と、タイムリーな「ニュースレター」の発行により、会員サービスの向上を目指し、会員及び準会員の拡大につなげたいと考えております。

### 2. 事業

上記方針のもと、以下の事業を行う。

- (1) 機関誌「地下水技術」と「ニュースレター」を発行する。個人ならびに会員企業の投稿原稿の拡充に取り組む。
- (2) 春季講習会として、「初級技術者のための地下水講座」の内容を、リモートで開催する。秋季講演会もリモート開催で計画する。
- (3) 協会ホームページの充実を図る。データベースを拡充し、閲覧サービスを充実させる。
- (4) 協会の事業を通じ、協会の認知を広めるとともに、会員サービスの向上と新規会員の獲得を目指す。
- (5) 準会員制度の広報を行い、準会員の獲得により協会活動の活性化を図る。

令和5年度予算 1/2

科目	令和4年度予算	R5年度予算	予算増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
基本財産運用益等	0	0	0
② 特定財産運用益	0	0	0
特定資産受取利息・配当金	0	0	0
③ 受取入金	0	0	0
④ 受取会費	3,820,000	3,760,000	-60,000
正会員	2,700,000	2,650,000	-50,000
特別会員	1,100,000	1,100,000	0
準会員	20,000	10,000	-10,000
⑤ 事業収益	675,000	780,000	105,000
受取参加費	600,000	650,000	50,000
機関紙頒布収益	20,000	20,000	0
広告収入	55,000	110,000	55,000
⑥ 受託収入	0	0	0
⑦ 受取補助金	0	0	0
⑧ 受取助成金	0	0	0
⑨ 受取寄付金	0	0	0
⑩ 雑収益	0	0	0
受取利息	0	0	0
有価証券運用益	0	0	0
経常収益計	4,495,000	4,540,000	45,000
(2) 経常費用			0
① 事業費			0
役員報酬	0	0	0
給料手当	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	50,000	50,000	0
旅費交通費	25,880	30,000	4,120
通信運搬費	90,000	90,000	0
電話料金	0	0	0
運搬費	90,000	90,000	0
郵送料	0	0	0
運送料	90,000	90,000	0
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
修繕費	0	0	0
印刷製本費	800,000	800,000	0
燃料費	0	0	0
光熱水料費（電気料金）	0	0	0
賃借料	50,000	50,000	0
会場借料（備品使用料含）	0	0	0
ZOOM契約料	50,000	50,000	0
保険料（火災保険料）	0	0	0
緒謝金	150,000	150,000	0
租税公課	0	0	0
支払い負担金	100,000	100,000	0
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
支払利息	0	0	0
委託費	0	0	0
雑費	31,000	31,000	0
印紙・証紙等	0	0	0
振込手数料	10,000	10,000	0
その他雑費（CPD含む）	21,000	21,000	0
事業費計	1,296,880	1,301,000	4,120

Ⅱ 令和5年度予算 2/2

科目	R4年度予算	R5年度予算	予算増減
②管理費			
役員報酬	0	0	0
給料手当	800,000	1,044,000	244,000
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	300,000	250,000	-50,000
通信運搬費	100,000	100,000	0
電話料金	70,000	70,000	0
郵送料	30,000	30,000	0
運送料	0	0	0
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	50,000	80,000	30,000
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
燃料費	0	0	0
光熱水料費（電気料金）	60,000	70,000	10,000
賃借料	1,704,000	1,504,000	-200,000
事務室賃借料	964,000	964,000	0
契約更新料	0	0	0
事務機リース料	600,000	400,000	-200,000
事務機保守点検費	120,000	120,000	0
会場借料(備品使用料含)	20,000	20,000	0
保険料(火災保険料)	30,330	30,330	0
緒謝金	0	0	0
租税公課	70,000	70,000	0
支払い負担金	0	0	0
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
支払利息	0	0	0
委託費	0	0	0
雑費	73,790	80,670	6,880
地下水学会会費	20,000	40,000	20,000
東京商工会議所会費	15,000	15,000	0
印紙・証紙等	10,000	10,000	0
振込手数料	10,000	10,000	0
その他雑費	18,790	5,670	-13,120
管理費計	3,198,120	3,239,000	40,880
経常費用計	4,495,000	4,540,000	45,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
固定資産売却損	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	1,818,785	2,035,674	0
一般正味財産期末残高	2,035,674	2,035,674	0

印刷費は、機関誌3冊、ニュースレター2回を想定し、金額を変更せず。